

科目ナンバリング		U-LAS07 10008 LJ31							
授業科目名 <英訳>	日本の経済 Economy of Japan			担当者所属 職名・氏名	経済学研究科 教授 渡邊 純子				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	日本理解		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	火2		配当学年	1回生	対象学生	留学生
<b>[授業の概要・目的]</b>									
戦前・戦後の日本経済を概観し、現在の日本が直面している諸課題について講義し、議論を行います。									
<b>[到達目標]</b>									
戦前・戦後の日本経済を概観し、現在の日本が直面している諸課題についての基本的知識を得ること。									
<b>[授業計画と内容]</b>									
基本的には、テキストに即して進めるが、別途、資料や参考文献を用いる。									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス / 日本経済の見方</li> <li>2. 日本経済の歩みI：戦前（明治維新前後からアジア・太平洋戦争後まで）</li> <li>3. 日本経済の歩みII：戦後復興，高度成長，オイルショック（低成長），安定成長，バブル経済</li> <li>4. 日本経済の歩みIII：長期不況からアベノミクス以降</li> <li>5. 企業</li> <li>6. 労働</li> <li>7. 社会保障</li> <li>8. 財政</li> <li>9. 金融</li> <li>10. 貿易</li> <li>11. 日本経済の課題I：格差，人口問題，地域経済の課題</li> <li>12. 日本経済の課題II：グローバル化，農業，デジタル化</li> <li>13. 日本経済の課題III：コロナ禍と政府の役割</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. フィードバック</li> </ol>									
<b>[履修要件]</b>									
日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。									
<b>[成績評価の方法・観点]</b>									
平常点60%，期末レポート40%。欠席回数が4回以下であることを期末レポート提出の際の条件とする。									
<b>[教科書]</b>									
浅子和美, 飯塚信夫, 篠原総一 (編集) 『新入門・日本経済』 (有斐閣) ISBN:978-4641166356									
----- 日本経済(2)へ続く -----									

日本の経済(2)

**[参考書等]**

(参考書)  
講義の中で指示する

**[授業外学修(予習・復習)等]**

講義資料や教科書を用いて復習すること。関心のあるトピックについては参考書を読んで理解を深めることが望ましい。

**[その他(オフィスアワー等)]**

メール等で予約して下さい。

**[主要授業科目(学部・学科名)]**